

大阪のまちづくりグランドデザインの 推進に向けて

- (1) 大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり
- (2) グランドデザインの推進に向けた取組

(1) 大阪・関西万博の機会をとらえた
府内各地のまちづくり

(1) 大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり

都市軸の強化

大阪全体の成長・発展に向け、都心部等の拠点開発効果を府域全体に波及させるため、都心部やベイエリアにおける国際競争力を備えた拠点エリアの形成により、東西・南北都市軸の強化を図る。

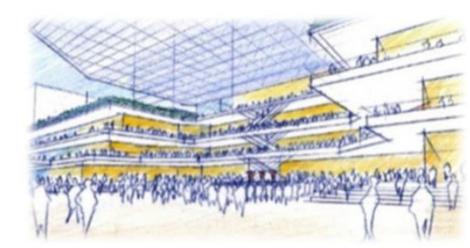


※1 提供:中之島4丁目用地における未来医療国際拠点整備・運営事業開発事業者(2021年5月時点のイメージパースであり、今後変更の可能性があります)
 ※2 提供:うめきた2期開発事業者
 ※3 提供:箕面市
 ※4 提供:2025年日本国際博覧会協会
 ※5 提供:西日本旅客鉄道(株)
 ※6 提供:大阪市
 ※7 提供:大阪地下街(株)
 ※8 出典:堺市HP
 ※9 提供:堺市
 ※10 出典:公立大学法人大阪HP

(1) 大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり

大阪府域における拠点形成

都心部等での拠点開発効果を府域へ波及させていくことや、ライフスタイルの多様化を踏まえ、府域の様々な地域において、多様な働き方・暮らし方を選択できるまちを実現



千里中央地区 整備イメージ※1

➢ 2024.3月 北大阪急行延伸線開業



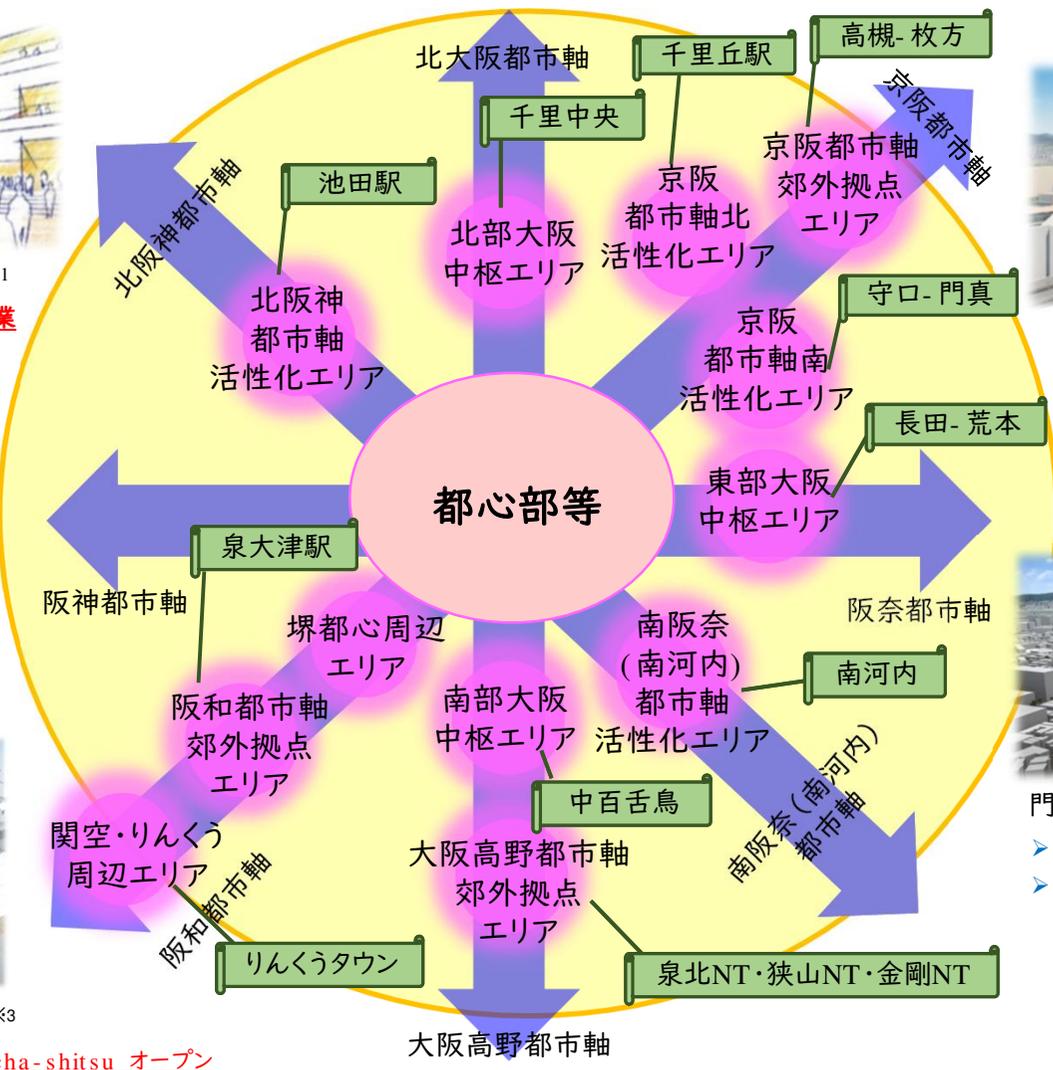
淀川を航行する観光船※2

➢ 2024 淀川大堰開門完成予定



中百舌鳥駅周辺 整備イメージ※3

➢ 2023.10月 Community room cha-shitsu オープン



枚方市駅周辺再開発※4

- 2024.6月 『カンデオホテルズ大阪枚方』 開業予定
- 2024.9月 『枚方モール』開業予定



門真市幸福東土地地区画整理事業※5

- 2025 市立生涯学習複合施設完成予定
- 2026 タワーマンション完成予定

※1 出典:千里中央地区活性化基本計画
 ※2 出典:淀川河川事務所HP
 ※3 提供:堺市
 ※4 提供:枚方市
 ※5 提供:門真市

(1) 大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり

うめきた2期

「みどり」と「イノベーション」の融合拠点を目標に、世界の人々を惹きつける比類なき魅力を備えた「みどり」空間と、新たな国際競争力を獲得し、世界をリードする「イノベーション」拠点の形成をめざす。

■これまでの動き

- 2015年 3月 うめきた2期区域まちづくりの方針を決定
- 2018年 7月 うめきた2期民間開発事業者を決定
- 2020年12月 民間開発工事に着手
- 2022年 5月 公園工事に着手
- 2022年 9月 一般社団法人うめきた未来イノベーション機構(U-FINO)設立
- 2023年 2月 JR東海道線支線地下化切換
- 3月 大阪駅(うめきたエリア)地下ホーム開業
- 2023年 6月 一般社団法人うめきたMMO設立

■今後の予定

2024年9月6日 先行まちびらき

(開業範囲)

- ・北街区賃貸棟(ホテル・中核機能施設・商業施設)
- ・南公園の全部、北公園の一部 等

2025年春頃 大阪・関西万博前

(開業範囲)

- ・南街区賃貸棟(オフィス・ホテル・中核機能施設・商業施設)
- ・駅前広場、新駅地上部の駅ビル(商業施設) など
- ※分譲棟及び北公園の一部以外は供用の見込み。

2026年度末 基盤整備の全体完成

2027年度 全体まちびらき



イノベーション中核施設「JAMベース」(会員制交流スペースイメージ)

(1) 大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり

夢洲第2期

2025年大阪・関西万博の跡地となる第2期区域において、国際観光拠点の形成に向け、万博の理念を継承したまちづくりのマスタープランを策定し、民間開発事業者を募集

■これまでの動き

- 2017年 8月 「夢洲まちづくり構想」策定
- 2019年12月 「夢洲まちづくり基本方針」策定
- 2022年12月 夢洲第2期区域のマーケット・サウンディング開始
- 2023年 7月 マーケット・サウンディングの結果公表

■今後の予定

2024年夏頃～ 夢洲第2期 マスタープラン案 提案募集開始

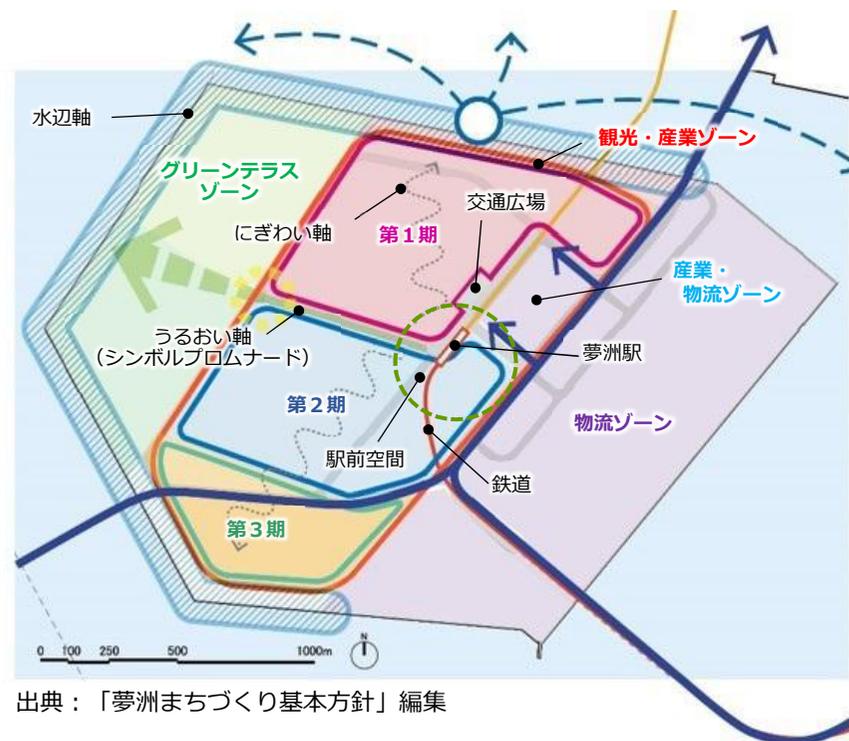
民間事業者から、マスタープラン案の提案を受ける

2024年度末 府市の夢洲第2期マスタープラン 策定

優秀提案をもとに、府市でマスタープランを策定

万博終了後～ 民間開発事業者募集

府市のマスタープランを踏まえて、民間開発事業者を募集



出典：「夢洲まちづくり基本方針」編集

【第2期】万博の理念を継承したまちづくり

大規模なエンターテインメント・レクリエーション機能や万博の理念、最先端の取組及び第1期において創出されたにぎわいを継承したまちづくりを進めることで、第1期のまちづくりと合わせて国際観光拠点機能の更なる強化を図る

(1) 大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり

大阪のスーパーシティ構想

テーマは「データで拓げる“健康といのち”」。
2つのグリーンフィールドで3つのプロジェクトを展開、大阪全体へ拡げていく。



夢 洲

うめきた2期

夢洲コンストラクション

大阪・関西万博

うめきた2期 Parkness Challenge

全体概要

- 万博開催に向け建設工事円滑化
- i-Constructionをデータとデータ連携基盤の活用で一層発展
- 最先端技術の建設工事を実施し、将来のまちづくりに活用

全体概要

- 4つの先端的サービスを始めとする様々な取組が進められる

全体概要

- 来街者の利便性向上に資する先端的サービスを提供

- #### 3つの柱
- 建設工事現場内外の移動円滑化
 - 建設工事・資材運搬円滑化
 - 建設作業員の安全・健康管理円滑化

- #### 4つの先端的サービス
- 近未来の医療・健康サービス
 - 自動運転車
 - 空飛ぶクルマ
 - Ma a Sによる移動の円滑化

- #### 利便性向上に資する先端的サービス
- ヒューマンデータ利活用に資するプラットフォームの提供
 - パーソナルモビリティのシェアサービス
 - 先端技術を用いた公園内・建物内の施設管理、配送等のマネジメント高度化
 - リアルとデジタルの融合した都市空間 Parkness 実現のためのDX推進
 - 駅を活用したまちなか・便利なヘルスケア環境の構築



出典：経済産業省HP



「大阪ヘルスケアパビリオン」イメージ図



実証イベントのイメージ図

(1) 大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり

大阪城東部地区

「大学とともに成長するイノベーション・フィールド・シティ」をコンセプトとし、大阪公立大学森之宮キャンパスを先導役とした観光集客・健康医療・人材育成・居住機能等の集積により多世代・多様な人が集い、交流するまちづくりの取組みを推進

■ これまでの動き

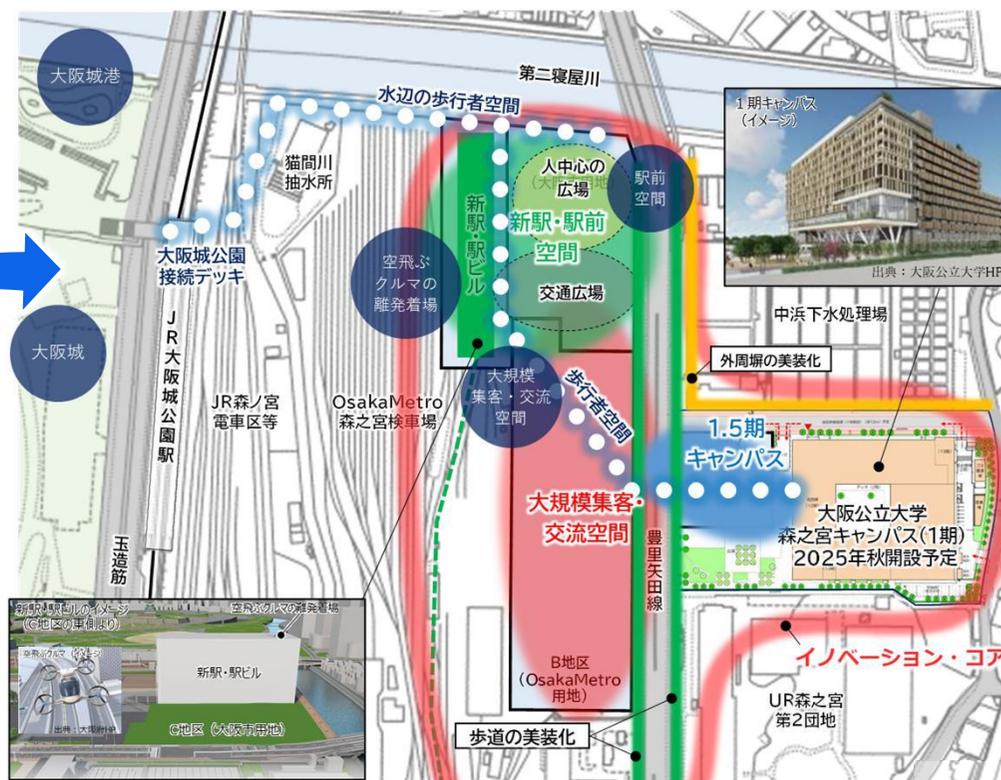
- 2020年 1月「新大学基本構想」策定
- 9月「まちづくりの方向性」策定
- 「都市再生緊急整備地域」に追加指定
- 2021年 9月「森之宮北地区地区計画」決定
- 2022年12月「森之宮新駅構想」公表
- 2024年 5月「1.5期開発の開発方針」策定予定

■ 今後の予定

- 2024年度 事業者公募
- 2025年秋 大阪公立大学森之宮キャンパス(1期)開設
- 2028年春から 1.5期開発まちびらき、新駅開業



大阪城東部地区全体図



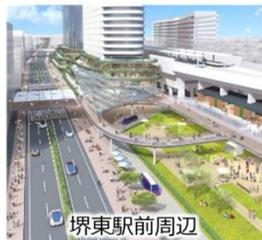
1.5期開発の土地利用・基盤整備の方針

(1) 大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり

堺都心周辺(堺駅・堺旧港エリア)

■多様な人が集い交流する魅力的な堺都心部の形成

- 堺都心未来創造ビジョン(令和5年5月策定)に基づき、類いまれな歴史文化や多様な都市機能等の地域資源を活かし、人を惹きつける魅力とそれらを結ぶ人中心のウォーカブルな空間の創出など、公民連携により魅力的な堺都心部の形成を図る。
- 堺東、環濠、堺駅・堺旧港エリアにおいて、駅前街区の再編や歴史文化資源、水辺などの公共空間の利活用による魅力創出、それら魅力を結ぶSMI(堺・モビリティ・イノベーション)都心ラインの推進など、堺都心未来創造ビジョンの実現に向け取り組む。



※パースは将来イメージであり確定したものではありません

堺旧港周辺の活性化の取組

<大浜北町市有地活用事業>(令和7年春開業予定)

- 堺旧港における海辺文化・賑わいの再興を活用コンセプトとし、周辺に堺旧港や旧堺燈台等の歴史文化資源を有する大浜北町市有地において、歴史文化を活かした海辺の魅力的な交流空間の形成を図る。



<完成イメージパース>

<整備状況(令和6年3月末時点)>



<親水護岸後背地等の活用>

- 親水護岸後背地等を活用する民間事業者の公募を行い、海辺を活かした交流空間を創出する。また大阪港湾局と連携し、海上交通の運航に向け、社会実験を通じ機運醸成等を進める。



(1) 大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり

高槻駅・枚方市駅

■京阪都市軸 郊外拠点エリア

【大阪・京都間の中心機能を担うエリア】

新たな市街地形成等の交通ネットワークを軸としたまちづくりを推進し、大阪・京都間の中心機能を担うエリアの形成をめざす。

■JR高槻駅周辺の位置付け

JR高槻駅北東地区を中心とした区域と阪急高槻市駅周辺の大阪医科大学(現大阪医科薬科大学)を中心とした区域を含む約34haにおいて、都市再生緊急整備地域の指定を受け、市の玄関口に相応しいまちづくりを誘導。

■京阪枚方市駅周辺の位置付け

枚方市駅周辺再整備は、枚方市駅周辺再整備基本計画に基づき、各街区のまちづくりの取り組みを推進。

■エリア周辺図



■高槻駅・枚方市駅周辺

○将来像

鉄道沿線を軸としたまちづくりや、道路整備に合わせた新たな市街地形成等の交通ネットワークを軸としたまちづくりを推進するとともに、地域資源を活用した回遊性の向上による広域観光拠点をめざす。



◆大阪医科薬科大学病院 新本館建築プロジェクト



・2027年頃 全体完成

◆JR高槻駅南地区市街地再開発事業



・2024年2月 市街地再開発準備組合設立

◆枚方市駅周辺地区市街地再開発事業



・2023年1月 建築工事着工
・2024年6月 『カンデオホテルズ 大阪枚方』開業

(1) 大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり

千里中央地区

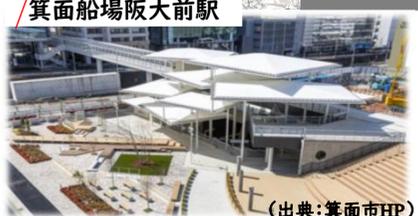
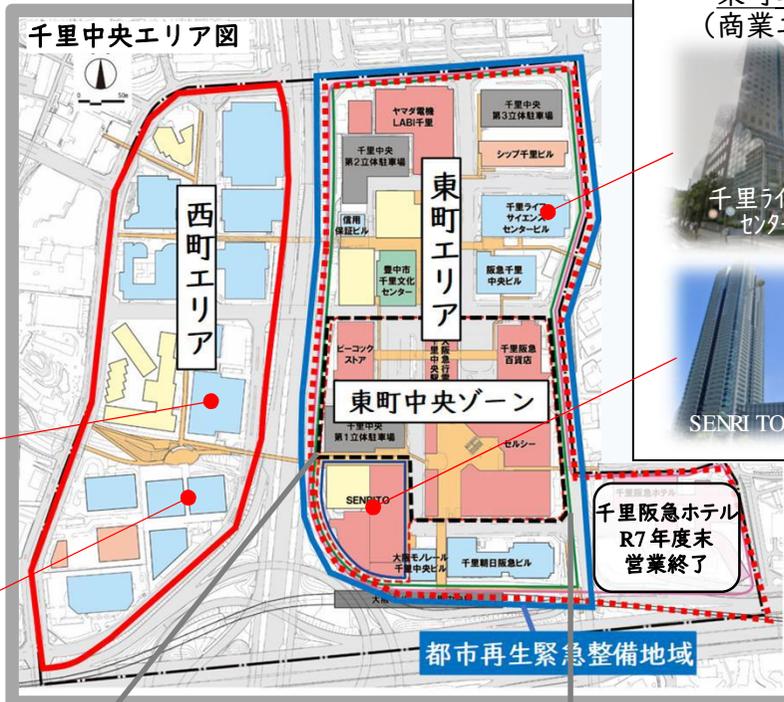
■北部大阪中枢エリア【大阪の中核を担う拠点エリア】

中央環状都市軸と東西・南北都市軸の交点

■千里中央地区活性化基本計画（東町エリア将来像）

北大阪をリードする“新・千里スタイル”の実践・発信拠点

- ✓ビジネスと生活・集客が適度にミックスしバランスの取れた魅力ある機能が展開するコンパクトな複合拠点
- ✓北大阪の中心拠点として市民の愛着に根差したシンボリックなまち
- ✓千里らしい、安全・安心でサステナブルな生活・働き方を実現するまち
- ✓あらゆる人にとって便利で、居心地よく、歩いて楽しいまち



東町中央ゾーン

■取組状況

千里中央地区活性化協議会 (H28設置)

- ✓官民協働の合意形成の場として設置
- ✓民間企業のほか、大阪府、豊中市及び大阪府都市整備推進センター等が参画

■今後の予定

- ✓主な整備内容(案)
整備手法:土地区画整理事業
- ✓段階的な整備を予定

東町中央ゾーン再整備事業 (先行開発区域除く)



(1) 大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり

守口市駅・門真市駅

■京阪都市軸南 活性化エリア

【京阪都市軸の発展を担うエリア】

職住近接で、多くの人・モノを惹きつける魅力を備えた京阪都市軸の発展を担うエリアの形成をめざす。

■守口市駅北側の位置付け

公民が連携して、共にまちづくりに取り組むためのアクションプランとして、「守口市駅北側エリアリノベーション戦略」を策定し推進。

■門真市駅・西三荘駅周辺の位置付け

「門真市駅周辺エリアリノベーションビジョン」「門真市駅・西三荘駅周辺エリアリノベーションプレビジョン」を策定し、人や事業がどんどん「育つ」エリアを目指す。

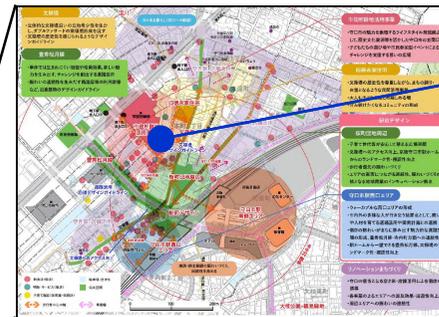
■エリア周辺図



■守口市駅・門真市駅周辺

○将来像

鉄道沿線を軸としたまちづくりや大阪モノレール延伸を契機としたまちづくりを推進し、特色あるものづくり企業等の集積を活かしたイノベーションの創出による産業競争力・エリアブランドの強化した拠点をめざす。



◇守口市駅北側エリアリノベーション戦略



◇門真市駅前地区市街地再開発事業



・2027年頃 建築工事中

◇門真市幸福東土地区画整理事業



・2025年度 市立生涯学習複合施設完成
・2026年度 タワーマンション完成

(1) 大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり

長田・荒本駅周辺

■東部大阪中枢エリア【東西都市軸の強化・発展を担うエリア】

大阪府内に好循環を生みだす東部大阪と東西都市軸の強化・発展を担うエリアの形成をめざす。

■長田・荒本駅周辺の位置付け

東大阪市第3次総合計画において「市の中心拠点」として位置づけられている。

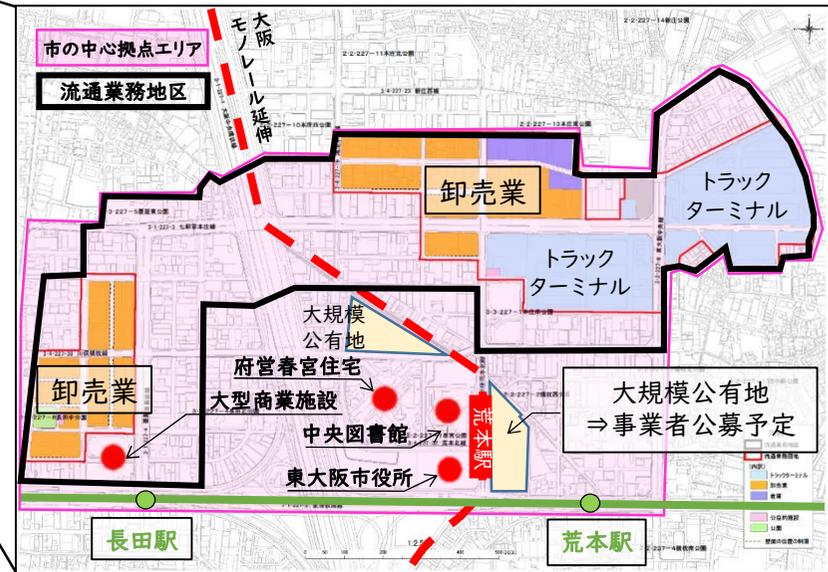
■エリア周辺図



■長田・荒本駅周辺

○将来像

- ・流通業務市街地等の既存機能の活用・更新による、多様な人や知の交流とイノベーション創出を促す都市空間の創造をめざす。
- ・そのために、東大阪市が位置付けている中心拠点エリアの検討にあわせて流通業務市街地のあり方の検討を進める。



(1) 大阪・関西万博の機会をとらえた府内各地のまちづくり

中百舌鳥駅周辺

■南部大阪中枢エリア

【南部大阪の成長・発展をけん引するエリア】

■中百舌鳥イノベーション創出拠点の形成

堺市基本計画2025において、「大学や産業支援機関、スタートアップ企業などが集積し、ビジネス・学術での交流機会の創出と産学官連携などによる新たな技術やビジネスが生まれるイノベーション創出拠点」に位置付けられており、成長産業や新事業を生み出すイノベーション創出の取組と相乗効果を発揮し、都市拠点にふさわしい活力が感じられる駅前空間の創出と交通利便性の向上に取り組む。

■エリア周辺図



■中百舌鳥駅周辺エリア（先導的に拠点形成を図るエリア）

○将来像

（堺市にてR6.4末までパブリックコメントを実施）

エリア内の活性化を図る両輪として、「駅前広場エリア」と「北部エリア」のそれぞれにおいて拠点の形成を図り、更に「周辺市街地」での民間投資を誘発し、エリア一体で都市機能強化や空間活用を図る。



駅前広場エリア 将来の絵姿



北部エリア 将来の絵姿



周辺市街地 将来の絵姿